

第1回向日市地域公共交通会議 会議録

日時 平成26年6月24日(火) 15時～16時30分
場所 向日市民会館 第1会議室
出席者 (委員)
久嶋市長、河崎委員、平山委員、柴原委員(代理 辻氏)、近藤委員
五十棲委員、春田委員、中村委員、清水委員、木ノ山委員、川本委員
川罵委員、越智委員、宇野委員、谷内委員、石橋委員(代理 大西氏)
今西委員(代理 土屋氏)、三沢委員(代理 吉田氏)
村上委員(代理 富永氏)、菅沼委員
(事務局)
酒井市民生活部長、小田市民生活部次長、松下防災安全課長、
宮崎防災安全係長、長田防災安全課主任
傍聴者 10名

1 開会

2 市長あいさつ

3 委員等紹介

4 議事

(1) 会長・議長の選出

下記のとおり決定した。

会長 久嶋 務 向日市長

議長 宇野 伸宏 委員

(2) 会議の公開について

- ・会議の公開に関する要綱及び傍聴要領の審議について
- ・会議録の作成及び公開について

会議の公開及び会議録の公表等について、原則公開する旨が説明され、特に意見等もなく了承された。

また、傍聴についても許可された。

(3) これまでの取り組みについて

(4) 短期的な取り組み案について

事務局 | (資料に基づき、事務局より説明)

委員 前回の検討委員会の時点ではまだだったと思うが、既に寺戸森本幹線1号は供用開始されている。

他にも、バリオレシェンテ町内会付近の南へ下がる道もまだ供用されていないが、そういうものを含めて検討していただきたい。既に供用開始された道も、近い将来供用開始される道も、検討資料に加えていただきたい。

事務局 北部開発についての検討については、提言書の中でも触れており、「短期的な取り組み案」の中の「安心・安全な走行環境への改善」で「北部開発に伴う周辺道路の供用による路線バス運行ルート of 検討」ということで、今後の検討課題の一つとして挙げている。

ご指摘の寺戸森本幹線1号の開通に伴うものも含めて、交通状況の検討については充分把握している。加えて、イオンモールの開業等、周辺の開発が完了するのに合わせて、今後検討していきたいと考えている。

議長 この地域公共交通会議については、その時の状況に応じて随時見直しが入って行くと思うので、できるだけ最新の情報を入れながら検討していただきたいと思う。

委員 提言書(資料編)86ページを見ると、色の赤いところが利用したいところ、バスを走らせてほしい施設というように理解している。公共交通を利用するには、そこそこ長距離乗らなくては何の利用価値もないと思う。例えば、家からバス停まで歩く距離と、バスに乗ってから次に降りるまでの距離が同等ないし近い距離ならまず利用されないと思う。この地図は、もっと長距離で「ここを通りたい」という方が重複しておられるので、この色の人数になったと理解してよいのか。

事務局 平成23年9月の市民アンケート調査では「新たな公共交通機関を利用して行きたいルートはどこですか、地図で示してください」と、具体的に地図に色付きで塗ってもらう形でアンケートを行った。

例えば、JR向日町駅から市役所までのルートですが、JR向日町駅から阪急東向日駅までは利用したい人は200人以上となっているが、阪急東向日駅から市役所に行きたい人は200人を切っているという状況になっている。

この書き方としては、ある人はJR向日町駅から阪急東向日駅を経由してサティ前を利用したいが、ある人はJR向日町駅から阪急東向日駅を経由して図書館や市役所に行きたいルートを書かれたというような複数の回答があるので、その部分を重ね合わせると、JR向日町駅から阪急東向日駅により多くの方が重ねてルートを書いていたということになる。

議長 今の話は、そこを目的とされる方が多数いらっしゃるという意味ですね。市民体育館なら、寺戸や駅の方から、また上植野の方からそこに向かって行きた

いという希望があって、それらを重ね合わせると色が濃くなるということです。色の濃いところは、そこを通りたいという方やそこを目的地とされる方が多いと読んでいただいたら良いと思う。

委員 地図で赤色で濃く示されているのが1日の利用者が200人というわけではないですね。今日は、公共交通会社の方がいらっしゃいますが、ここでバスを走らせるとなると、1日200人でもあまり利益の上がる路線とは思えない。そこを考慮すると、市民のニーズにバス会社が合わせにくいという感覚があるがいかがでしょうか。

委員 通常、バス路線を運行する際、2点間輸送ではなく、地域をある程度面的なエリアで捉えて運行している。1つの地域に1ヶ所または数ヶ所200人の需要があるからといって、バス路線を走らせる云々とは考えにくい。

バスの営業所は、1台ではなく数十台単位、場合によっては数百台単位で構えているため、投資するバスの車両、それに見合った運行本数等が複雑にからむため、1ヶ所だけの需要を見て、そこが運行可能かどうか判断するのは正直なところ難しい。

委員 公共交通は地域で支え合うという市民の意識がないと持続可能な形にならないのではないか。「短期的な取り組み案」の中に、「既存路線バスの利用促進」とあり、情報提供やモビリティマネジメントについて書かれているが、既存バス路線の再編をする際にモビリティマネジメントを行い、今までの交通行動をマイカー依存から公共交通に代えてもらう方策を合わせて実施し、1つの施策だけではなくパッケージとして併せて行うのが良いのではないか。

提言書の中で、向日市はマイカー依存度が高いことが書かれていたが、高齢者が免許証を返上する際、マイカーから公共交通などの安全な交通手段に移りたいと考えた時、なかなか乗り慣れていなかったり、公共交通の情報を知らない、バスなどの公共交通に乗ろうという意識にならないのではないか。

ぜひ公共交通が便利になる時に、情報提供や利用促進について合わせて検討していただけたらと思う。

議長 提言書にも書かせていただいたように、単にバスなどの公共交通を整備するだけでなく、市民の方に支えていただかないと持続可能な形にはならない。市民の方にご協力いただくことによって、車がなくても何とか市内の移動ができるようになるのではないかと。

委員 向日市はコンパクトで便利なまちですが、これから高齢社会が進んでいくと、免許証を返上される高齢者も大変多くなっていくことが予想される。バスが行き届いていない地域もあるが、コンパクトな小さいまちでも市民の方が利用できたらいいと思う。

委員 寺戸森本幹線1号ができて、周辺のイメージがだいぶ変わったと思う。また、アンケートの中には、JR向日町駅の沿線沿いの西側の道が非常に狭いという点も、若干含まれていたのではないかと。

市民体育館はニーズの高い場所となっているが、特に土日は市内だけでなく市外からの利用者が多いため、道路が混雑し、渋滞が起こっている。今後の検討課題の中には、この点についても織り込んでいただきたい。

委員 学校、駅、病院などは日常的にたくさんの方が利用される施設であるが、そのうち、駅や学校については、自転車の利用者が多いと聞いている。駅の近くに新しく路線バスを引いても、果たして利用されるかどうか。また、バスを走らせる場合、公共交通会社としての使命はお持ちだと思うが、バス会社の方に利益を無視してお願いすることもできないので、そのあたりを検討しなければならないのではないかと思う。

また、物集女地区には新しく久世北茶屋線が拡幅され、それに伴い、JR桂川駅や阪急洛西口駅ができた。たくさんの方がこれらの駅を利用されるため、バス路線もでき、現在、物集女地区には、ヤサカバス、京阪京都交通、阪急バス、京都市バスが走っている。南北については、昔、東向日から物集女経由で桂駅へ行く路線があり、通学・通勤などで桂駅へ向かう方が乗っておられたが、阪急洛西口駅ができて利用客が減ったため廃止され、少し不便なところもある。利用者としてはあった方が便利だが、利用者が少なかったら、歩いて15分～20分で阪急洛西口駅へ行けるので致し方ないと受け止めている。このような観点からも、新規のバス路線を走らせることは、相当事業者に負担がかかると思うので、その点についても考えなくてはいけないと思う。

議長 今、一旦いろいろとご意見をいただいた中で多少気になるのは、道路の幅員、交差点の問題があると思う。バスが実際に安全に走行しようと思うと、現状、需要の高い市民体育館、ゆめパレア、上植野地区などで今のところ支障になりそうなことは何かあるのか。

事務局 道路の状況、幅員、交差点の状況等については、民間のバス事業者さんとルートの見直しを検討する中で、個別の課題等を抽出し、対応していきたいと思っている。

議長 調査に基づくニーズの分析を踏まえ、需要が高いと思われるエリアに対して、道路側が受け皿として充分機能するのか、場合によっては小型バスの採用も含めて検討する必要があるのではないかと。

キーワードは「持続可能」なので、赤字をずっと抱えて走らせるのは不可能である。それをどこまで許容できるのか、また、市民の側がどのくらい「公共交通は必要だから少し使っていこう」というふうを考えていただけるのか、それに対する対策を地域公共交通会議は責任を持ってやっていく必要があると思

う。そのあたりを踏まえて今後進めていただければと思う。

委員 市民体育館は大変ニーズが高い場所であるということだったが、付近には国道171号線から市民会館に抜ける府道がある。特にスーパーに行かれる方が多いこの道で、一番ネックになっているのは、前田地下道が狭いため、渋滞が引き起こされている点である。

また、交差点はT字型になっており、ここは大型バスの進入は難しく、中・小型バスしか無理ではないかと思う。このような点についても検討しなければならないと思う。

委員 物集女街道の拡幅工事について、昨年度から工区を3つに分けて行われているが、第1の工区だけでも5年計画となっている。JR向日町駅から阪急東向日駅までの工事も足掛け30年かかっていることを思うと、なかなか思い通りにははかどらないものではないか。拡幅工事も早くて5年先、最終工事でも15年かかってもできないのではないか。

阪急バスさんは現在、大型バスを通していただいているが、特に休日は大型車が1台入るだけで車が20台30台並んでしまい、車塚からマルコーの辻までほとんど車が詰まってしまっている。やはり道路が良くなると交通渋滞を解消する手段が見つからないとすれば、何らかの規制やう回路の設置等を考えないと、今のままで大型バスが走り、自家用車がどんどん通るということであれば、物集女街道から東向日駅へ行く交差点などは3分～5分待たないと曲がれない。ましてや事故が起こったら、パトカーが来るまでにも20分～30分かかり、パトカーすら両側が渋滞していたら入って来れないという状況である。そういう状況の中で、公共交通の検討がすんなりいくのかと危惧を抱いている。

事務局 道路の形態について、ご意見をいただいたところについては、市でも重要な課題であるとして、長らく懸案となっている。前回の検討委員会でも道路の問題については議論したが、ハード面の整備については、今、府道の拡幅工事等に取り組んでいるが、なにぶん時間がかかっているのが現状である。

今回、公共交通会議を開催した意味としては、それも含めて、それ以外のできることからやっていくといこうという姿勢で考えている。ご指摘の点をなおざりにするのではないが、まずできることからやっていって、全体の市としての公共交通の利便性を高めていきたいと考えている。

委員 検討いただくとは思いますが、現実、物集女車塚古墳から上がって横断陸橋のあるところ、2向小の南側へ上がる道からマルコーの辻までの間で事故があったら、30分から40分の間、車が動かない。そうすると、バス路線になっている物集女街道から浄水場を経て、御陵のところを通過して、竹の道を東へずれて、上里線へ降りていく道がう回路になっている。事故が起こったら、皆、西側へ

迂回している。

市でも、寺戸事務所から2向小の南側へ抜ける道の間で事故が起こったら、抜け道の表示をすることも合わせて考えていただきたい。

議長 今のご意見は、いろいろと地元の問題を踏まえてのご発言だということは重々承知している。その一方で、あまり抜け道を堂々と表示してしまうと、その地域にお住まいの方々のこともあるので、慎重に検討する必要があると思う。かつ、この場で直接扱えるテーマかどうかというのも少し悩むところでもあるので、市で別途ご検討いただきたいと思う。

会議の役割としては、車の利用が過度になりすぎているのではないか、もちろん向日市民の方だけでなく、域外の通過交通もあるが、それを少し見直していただくための機会を提供できれば、また、バスや鉄道を使う生活のあり方について考えていただくというのもこの会議の1つの役割であると思う。道路の問題は、そう簡単に解決しない問題なので、その間、皆でどうやってしのいでいくのかご議論いただければと考えている。

委員 バスが走るにはバス停が必要となるが、バス停は大きな店の前や企業の前でご協力いただくことになると思う。

ベンチを作るなど、少しずつ努力すれば、バスの利用率は高くなっていくと思う。

議長 バスの待ちスペースの問題や、バスを待つ時間を少しでも快適に過ごしていただけるかというのも、バスのサービス向上につながると思う。当然、地元のご協力がないと成り立たない問題なので、その辺りもご検討いただきたい。

ただ一般論として、バス停の設置というのは、どういう基準があるのか、何か一般的な考え方や規則などご披露いただけないか。

委員 バス停については、基本的には、お客様の需要のある地域に設置している。設置できないのは、バスが入れないほどの狭い路線は物理的に難しくなる。大型規制などの規制のあるところも難しい。また、バス停を設置する歩道付近の安全も考えている。

議長 現地の状況を踏まえながら、実際に今後検討していただく必要があると思う。それ以外にご意見等いかがですか。

委員 短期的な取り組み案のひとつに「既存バス路線の再編による対応」とあるが、今、一番懸念しているのは、営業していただいているところがもう赤字なので、採算も合わないで路線を廃止したいとなると、利用者がいないのであれば、要望するだけでどうすることもできないということになる。

道路を広げるというのは必須条件、ただし、時間がかかる問題である。

移動したいところへ今どのような方法で目的地で行っておられるかという調査も必要ではないでしょうか。

議長 前回のアンケートの中では、そこまでのところは踏まえていない。必ずしも現状そこに行かれているかどうかを問うていない。現状、車・自転車・徒歩で行っている、あるいは、そこになかなか行くこともできないという方々のご回答を含めての内容になっているので、ご理解いただきたい。

委員 週に1～2回、体育館を利用しているが、利用率は大変高い。利用されている方は自転車や自家用車等で来られている。
体育館を利用の方で、バスを利用する方は少ないのではないかという感じに思っている。

委員 先日、6月11日付けの京都新聞に、京都市の「まちは輝いていけるか 地域づくり バスを核にしたモビリティマネジメント」という記事に、利用者ができるだけ車をやめてバスを利用する運動を地域・自治会等で行って、成功した例が出ていた。こうした考え方を基本として行っていかなければいけないと思う。
体育館は、今は交通機関がないからやむを得ず、車や自転車で来られていると思う。また、主に学生さんは、JR向日町駅や阪急東向日駅から歩いて来られている。

議長 現状も大切であるが、これから10年、20年先に向日市の人口構成が変わってくることも踏まえて考えなければならない。
恐らく、高齢者の数が増えることが予想され、できるだけ健康に過ごしていただくためにも、プールや体育館の施設の活用も考える必要がある。いろいろご意見はあると思うが、必ずしも、この施設にニーズがないというわけではないと思う。

委員 公共交通機関であっても、車いすを利用している身体障がい者の人はバスは乗りにくい。向日市は坂も多いし、歩道も狭く、頻繁にバスが来るわけではないので、タクシーや自家用車があれば、それを利用せざるを得ない。

議長 公共交通には、広くタクシーやその他の機関も含まれている。また、もう少し広く捉えて、向日市のモビリティをどう作っていくかということも、この地域公共交通会議の大きな目的だと思う。
バスそのものも、さまざまな工夫をされ、低床式のバスやステップのないバスなども増えている。

委員 現在、老人クラブの会員は1,300人、その中で活動しているのはごく一部と

なっている。老人クラブとしては、施設を巡回バスで何とか行ければいいと思う。老人クラブの現状としては、高齢者がどんどん増えているのに会員が大きく減っている。活動は、スポーツだけでなく、サロンもあるので、できるだけ長く活動できる環境を作りたいと思っている。

議長 選択肢を増やすというのが重要なのではないかと思う。今回、短期的な取り組み案ということで路線バスが前面に出ているが、それとともに、バスやタクシーなど地域に選択肢があれば、いろんな方が外出しやすくなると思う。

委員 バスだけで全ての人をカバーするのは、なかなか難しい面もあるのではないかと思う。短期的な取り組みでは難しいかもしれないが、バスに乗れない方に対しての移動手段の確保について考えていくことは、向日市のモビリティを向上させるうえで重要なのではないかと思う。確かにノンステップバスは普及してきているが、バス停の改良が進んでいないのが現状であるので、合わせて検討していただく必要がある。

委員 当社は、JR向日町駅からJR桂川駅と中山稻荷線のバスを主に運行している。最近、歩道の改良工事が洛西ニュータウンや中山稻荷線で行われているが、悩ましいのは、行政区の違いによって対応が変わってしまい、残念な思いがする。

中山稻荷線の歩道の拡幅工事はこれからしばらく続くが、向日回生病院前や物集女で、バスが停車する位置に背の高い植栽が植わっていて、バスが停車して、乗務員が左のサイドミラーを確認してお客様の乗降を確認しているが、過去にバスを降りられたお客様が洛西ニュータウンの方から猛スピードで降りてきた自転車に激突されて負傷されたという事故が起きた。今回の改良工事では、見通しがきくように植栽の撤去をお願いできないかと伝えたところ、民間事業者の要請では聞き入れてもらえず、非常に水臭い回答をされた。地元の要請があればということだったので、地元のご協力をいただいて、向日市内の交通事故が1件でも2件でも減らせるような施策にご協力いただきたいと思います。

委員 バス停の構造については、利用者の方に安全で利便性良くバスを使っただけのように道路管理者として改善していく。バス会社のご意見もお聞かせいただきたいと思います。

委員 バス停前の歩道は、鍵型に搔いてあることがあるが、ベンチを狭い歩道に置いているのは危険性もあると思う。バス停から少し離れても、広いところに置いてほしい。

委員 ベンチは、道路管理者に許可を得て置く場合と、地域で任意に置かれる場合

がある。バス会社の所有で設置する場合は、安全性を確認したうえで設置していると思うが、確認させてほしい。

委員 先ほど植栽の話が出ていたが、電柱も車いすが通るには大変である。狭い歩道を車いすで通るのも大変だが、電柱があったら通れないので、関西電力と協力して移動する等、対策をしてほしい。

また、横断歩道の前に電柱がある箇所がある。横断歩道か電柱のどちらかを動かしてほしいと伝えたが、ちょっと電柱が細くなっただけであった。検証していただきたい。

議長 本日の議事については、以上をもちまして終了とします。いろいろと多岐に渡るご意見をいただき、事務局で整理のうえ、議事録を取りまとめたいと思います。

今後のスケジュール等につきまして、事務局からご案内をお願いします。

5 その他

事務局 貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

本日のご意見を踏まえ、事務局から民間バス事業者さんと個別に協議をさせていただき、その内容についてご意見をいただきたいと思います。できれば秋頃に2回目の会議を開催したいと考えています。

会長 活発なご議論をいただき、ありがとうございました。

6 閉会